



全国高等学校長協会総会

令和元年5月24（金）

5月22日（水）と23日（木）の両日、大宮ソニックシティホールで全国校長会総会が開催され、私も参加してきました。今年で4回目の参加となります。毎年、全国大会がお隣の埼玉県大宮市で開催されるのは、私にとっては、大変有難いことです。今年は全国に約5000校のうち、約半数の校長先生が参加されました。毎年思うことですが、これほど多くの高校長が一堂に会する壮観さに感銘を受けます。

そして、壇上発表される各学校での取組内容は、どれも素晴らしい者です。校長が変われば学校も変わると言われますが、みなさんのリーダーシップにはただ敬服するばかりです。中でも、福岡県立福岡高校・合屋伸一校長の発表は、特に印象に残りました。本校と校風が似ており、「文武両道」を実践して

いて、非常に活気ある学校であると感じました。参考にさせていただく点が多々ありました。合屋先生が最後に述べておられたように、現状に甘んじることなく、本校も新しい伝統の礎を築いていかなければならないと思いました。

今回は、茂木健一郎氏による「脳科学からの高等学校教育への期待」という講演も聴くことができました。氏の近著「本当に頭のいい子を育てる世界標準の勉強法」を最近読んでいたので、「探究」や「地頭力」等のキーワードについての話が良く理解できました。



写真左下が茂木氏



また、文部科学省の各担当者より様々な行政説明がありました。いよいよ来年度から始まる「大学入学共通テスト」や「英語4技能テスト」については、少しでも新しい情報が欲しいところです。これから細部にわたる要項が発表されていくと思いますが、いち早く情報を得て、その都度、生徒に還元できるようにしていきたいと改めて実感しました。